

《企業紹介》

同社はベトナムでユニバーサルバンキングサービスを展開する銀行で、大手4行（ベトナム投資開発銀行、ヴィエティンバンク、ベトコムバンク、アグリバンク）の一角を占める。国内銀行の総貸出残高に占める同社のシェアは9.2%（2021年9月末）となっている。同社の強みとしては、国際的な信用調査機関からベトナム国内の銀行の中で最も高い信用評価を得ていることが挙げられよう。

1963年4月にベトナム国立銀行の外国為替部門がスピンオフして設立され、1990年に外国為替専門銀行から商業銀行へ転換、その後事業の多様化を進めて2009年に民営化企業として初めての株式公開している。2011年にみずほ銀行と戦略提携し、みずほ銀行は同社の株式の15%を保有している。

《2023年7-9月期業績》

2023年7-9月期の営業収入（対応費用を差し引いた純額、以下収入は全て同様）は前年同期比5.6%減の15.7兆VND（ベトナムドン）だった。貸出債権が同5.2%増の1,150兆VNDとなったが、政策金利低下によって貸出金利が下がったため、金利収入が同7.8%減の12.5兆VNDに減少しことが影響しているようだ。その他収入は同17.6%増の2.2兆VNDとなっているが、これは有価証券売買損益が前年同期の1,543億VNDの赤字から415億VNDの黒字に転換したためである。

税引前利益は同19.6%増の9.0兆VNDとなった。営業収入は減少したが、営業費用が人件費や管理費の削減を中心に同17.9%減の5.2兆VNDとなったこと、貸倒関連費用が同46.2%減の1.4兆VNDとなったことが貢献した。税引後利益は同19.9%増の7.2兆VNDとなった。

貸倒関連費用を貸出債権残高で除した貸倒比率（年換算）は前年同期の1.0%から0.5%へ低下している。金利は低下したものの、ベトナムの経済活動に停滞感が強まっており、営業収入の減少を容認しても貸出態度を厳格化し、バランスシート健全性の維持に努めてきた結果とみることができよう。10月以降も経済状況の停滞が続く可能性があり、営業収入の伸び悩みに対して営業費用削減と債権管理の徹底によって利益を確保することになりそうだ。

図表1 四半期業績の推移（単位 十億VND）

	2022年7-9月期		2022年10-12月期		2023年1-3月期		2023年4-6月期		2023年7-9月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	16,714.0	26.1	18,662.6	25.5	18,517.2	10.7	17,470.2	9.4	15,777.3	-5.6
（うち金利収入）	13,664.0	31.0	14,809.5	37.4	14,202.9	18.6	14,020.6	9.6	12,596.1	-7.8
（うち手数料等収入）	1,102.0	-2.2	2,331.3	-3.4	1,456.3	-46.3	1,622.1	133.7	891.0	-19.1
（その他収入）	1,948.0	14.7	1,521.8	-9.1	2,857.9	39.6	1,827.5	-26.3	2,290.1	17.6
営業費用	6,370.0	27.3	4,564.9	49.3	5,274.3	17.0	5,656.1	-2.7	5,232.5	-17.9
貸倒関連費用	2,778.0	10.5	1,678.6	-55.2	2,021.6	-11.1	2,536.4	-7.2	1,493.6	-46.2
税引前利益	7,566.0	31.9	12,419.1	54.0	11,221.3	12.8	9,277.7	25.0	9,051.2	19.6
税引後利益(株主帰属分)	6,065.0	32.0	9,928.3	53.9	8,986.4	12.9	7,422.8	25.0	7,268.9	19.9
貸出債権残高	1,093,971	20.2	1,120,287	19.8	1,142,187	14.5	1,139,981	6.8	1,150,958	5.2
貸倒比率(年換算、%)	1.0	-	0.6	-	0.7	-	0.9	-	0.5	-

注1 収入は全て対応費用を差し引いた純額

注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20231109

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ベトコンバンク(VCB)



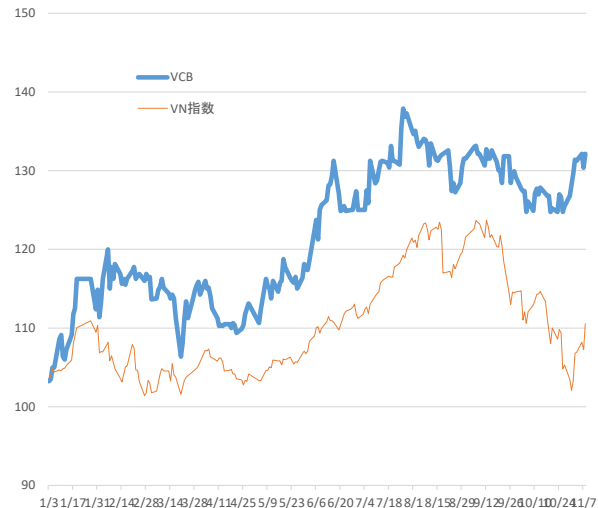
《株価の推移》

同社の株価と VN 指数の 2022 年終値を 100 とし、それぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価のパフォーマンスは VN 指数に対して年初から継続的にアウトパフォームしている。11 月 8 日終値時点で VN 指数が 2022 年末比 11% の上昇となっているのに対し、同社の株価は 32% の上昇となっている（7 月 25 日の 1 : 1.181 の株式配当の権利落ち修正後）。11 月 8 日終値 89,500VND で計算した時価総額は 500 兆 VND、これは 2022 年 12 月期実績の親会社株主帰属の税引後利益 29.8 兆 VND に対して 16.8 倍となっている。

同社は 2023 年の GDP 成長率が最大 6.5%、貸出債権残高が前期末比 14% 増、貸倒比率 1.5% 程度未満とすることなどを前提に、税前利益を最低でも前期比 15% 増の約 43 兆 VND にする考えを示している。

税前利益の 1-9 月累計実績の進捗率は 69% だが、9 月末の貸出債権残高は 2022 年末比で 2.7% 増加にとどまっている。経済状況の停滞による資金需要の伸び悩みや低金利など、事業環境は厳しい状況が続いている可能性が高い。貸倒比率は会社計画を下回り、業績を下支えしているが、12 月に向けて不良債権が増加（貸倒損失の増加）するリスクも残る。短期的な業績については懸念材料が多い点には注意が必要だろう。

図表2 株価推移



注 7月24日権利落ちで実施された株式配当(1:1.181)を考慮している

出所 Investing.comのデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20231109

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。